

「Withコロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	株式会社GATARI
(法人・団体の場合)	代表者名：竹下 俊一
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="radio"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input checked="" type="radio"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸（○）を記入してください。

<input type="radio"/> 未来デザイン部門	<input checked="" type="radio"/> 未来テクノロジー部門
--------------------------------	---

アイデア名	自社開発の空間音声配置アプリ「auris」を活用したWithコロナ時代における未来アイデア
-------	---

提案の概要（200字以内）

GATARIの開発する「auris」は世界初の空間に音声を半永久的に固定するアプリケーションです。「auris」はスマートフォンとイヤフォンで空間に配置した音声を、あたかもそこにあるかのように聴くことができます。この機能を用い、Withコロナ時代における非接触で安全性の高い音声情報インフラの実証実験を行っていきたいと考えています。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由

感染症の流行に伴い、各所で人数を制限してのイベントや集客など、ソーシャルディスタンスを意識した施策が前提となっています。それにより、客数の上限が決まり、商業施設や観光業の収益減への対策が求められています。併せて、運営側における人手不足の解決のため、またリスクを下げるために非接触かつ自動化が課題になっていると考えます。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由

スマートフォンとイヤフォンで完結する「auris」を用いた提案では、音声によるガイドやコンテンツを空間に配置することで、施設や場所の来訪者が非接触・無人での道案内を受けたり、没入感のある音声コンテンツを楽しむことができ、客単価の上昇と、接触リスクの低下の2つの効果をもたらすと考えます。現在、実現にあたってどのような技術的・運用的な課題があるのかを検証するため、実証実験のためのフィールドを模索し、様々なユースケースにおける活用方法を模索しています。特にARと組み合わせる音声体験において、現実の場所の持つ力を活かす提案が必要となるため、様々な施設や場所での実証実験が必要不可欠となります。

提案の詳細 ※様式自由

かながわ創生さまの持つ観光地や施設所有者さまとの繋がりを元に、現在課題を抱える分野へのヒアリングとディスカッションを行い、該当する施設や場所での「auris」を用いたWithコロナ未来アイデアの実証実験を開始したいと考えています。実証実験を通して、実際に導入するにあたって克服すべき技術的な課題や運用方法、活用ユースケースの模索を行い、次世代の情報インフラとして機能する汎用性の高い音声ARプラットフォームの構築、及び実際の施設や観光地への導入を目指します。

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又はPDF形式）で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。